

【家庭数】

令和2年6月吉日

愛宕小学校保護者各位

八王子市立愛宕小学校 学校運営協議会
会長 貴家 由美子

愛宕小学校 学校運営協議会だより

愛宕小学校は、地域運営学校（コミュニティ・スクール）のため、学校運営協議会があり、年間にわたり、学校について、地域についての会議を行っています。

第1回学校運営協議会は、6月19日（金）に愛宕小家庭科室にて行い、以下の話し合い、討議を行いました。（出席…校長・副校長・委員7名、オブザーバー2名、中野先生、瀧口先生、計13名）

令和2年度 学校運営協議会 委員紹介

以下のメンバーで話し合っていきます。よろしくお願ひします。（敬称略）

- ・ 貴家由美子 会長(学校コーディネーター・放課後子ども教室会長)
- ・ 好村あい乃 図書ボランティア代表
- ・ 大石友紀 元愛宕会代表
- ・ 埼玉太一 元愛宕会代表
- ・ 山本孝子 前愛宕会代表（令和元年度）
- ・ 山本英顕 学校安全ボランティア
- ・ 佐々木義徳 元上柚木四町会会長
- ・ 問川博之 学識経験者（医師）
- ・ 内藤里美 敬愛フレンド保育園園長
- ・ 井上竜太 校長
- ・ 石川京子 オブザーバー 愛宕会代表（令和2年度）
- ・ 神山あゆみ オブザーバー 愛宕学童
- ・ 草野勝彦 副校長



議題：

- ・ 会長、校長、副校長あいさつ
- ・ 委員紹介。瀧口先生、中野先生あいさつ
- ・ 学校再開について（校長より）
年間行事予定について※日程が変わっています。最新版をご確認ください。
- ・ 学校運営協議会の運営について（会長より）前年度漢検経費内訳報告、放課後子ども教室など

新型コロナウイルス感染拡大予防のもと、小学校が休校に突入した後、初の正式な学校運営協議会でした。校長先生と会長から、ご挨拶の後、新しく松木小から赴任された副校長先生からもご挨拶頂きました。各委員の観点で自粛期間の感想や学校への疑問などが話題（下記抜粋）となりました。

□埼玉さんより（1年生の子どもを持つ親でもある）：

1年生を持つ親として、まだ帰属意識のない「学校」という場に息子の意識を向けさせて過ごすには、どうしたらいいのか悩んだ（結論としては、無理には意識を向けさせなかった）。学校は「社会性を身に着ける場」であると思っている。今回突然始まった休校期間で、学校生活が奪われ、学習時間が減り、行事に充てられる時間も減り、今後も同様のことが起こりうる（より「教科学習」に時間をとられるようになる）。今後、感染症の第2波第3波を見越してタブレット端末が一人一台、オンライン授業が当たり前となった場合、「教科学習」だけなら学校以外のところでも、質の良いサービスが沢山あるという現実は無視できない。そんなことを考えたときに、「学校とは何??」ということで頭の中がグルグルして結論は出ていない。ただ、そういった時代に入っていくなら、先生方の意識改革も必要になってくると思う。本校は今年度アクティブラーニングの推進校にもなっている。アクティブラーニングは、まさに、ティーチングではなく、コーチングによって、行われる教育方法。「教える」というだけでなく、生徒の力を引き出していくファシリテーターのような教師像が求められるのではないかと。また、公立の学校は地域の中心であるべきであることは変わらない。先生方には「心のつながり」にも気を配ってほしいと思う。

→「心のケア」という観点で、学校からの電話連絡はどうなっているのかという話題が上がりました。毎日国や市の方針が変わる中で、学校も対応に追われる日が続いたが、登校日を設けたことで電話連絡は控えたという経緯が分かりました。一方で、週1で電話連絡していた家庭もあり、家庭側で心配なことがあれば遠慮なく学校に連絡するというのも必要なのだと思いました。

□愛宕学童・神山先生より：

自粛期間は、学童利用者にも自粛にご協力頂いた。学童は生活をする場であるため、学校と同じ形式で授業はできない。学校から配布された家庭学習のプリントも、学童にお任せという訳にはいかないため、ここは学童でやるけれどこちらは土日に家でやってというように、家庭と連絡し合いながら過ごした。

□敬愛フレンド保育園・内藤先生より

自粛期間は、在宅ワークになった方も多く利用者は普段の5分の1だった。卒園式はできたものの入園式ができなかった。保護者への発信はメールでこまめに行っているが、確認ボタンをおしてもらえないこともあり、困っている。行事を減らすことについては、代替案も含み検討している。乳幼児については、マスク越しで、表情が読めないと笑わなくなるかもしれないと、危惧されていたが、マスクがあっても、声色を変えてあやせば笑うということが初めて分かった。

□安全ボランティア・山本さんより（毎朝校門の前で、緑のベストを着て、登校の見守りをしています）

朝の登校を見守っているなかで、今年的一年生の様子は比較的落ち着いていると思う。いつもとは違うスタートになって心配したが、そんなに動揺していないのかなと思う。ウイルスも必要以上に恐れるのではなく、手洗いをしっかりすれば、防げるので、元気に挨拶して登校してほしい。

□図書ボランティア・好村さんより

休校中「みんなのポスト」を利用した子ども達と先生方のやり取りをHPで見て心があたたまった。知り合いの大学生が「突然休みになってしまったことで大学に行かれなくなり、初めて研究室の仲間に会いたいと思った」と言うのを聞き、成人した大学生がそのように感じたのなら、小学生はどのような気持ちで過ごしていたのかなと思っていた。子どもも大人も今回は初めての経験で大変な思いをしたのでそれぞれの心のケアが大切だと思った。

□オブザーバー・愛宕会代表の石川さんより

初 Web 愛宕会総会で承認された石川さんは24, 25, 26年度愛宕会代表と学校運営協議会メンバーも務めていた。上のお子さんが中学時代、上柚木中学校PTA会長経験もある。今年度は愛宕会代表として学校運営協議会のオブザーバーになられ、今年度の愛宕会の活動計画などを伺った。(詳しくは『愛宕会だより』を参照)

その他、23区の公立小や私立のオンライン授業などの情報交換を行った。

□学校運営協議会主催で行ったこと

- ・ZOOMクラス会(全学年)
- ・そよ風門に「みんなのポスト」、プリント配布棚を設置
- ・登校日の青空図書(古本の配布)
- ・ZOOM茶話会(小児科医の先生をお招きして)

□令和2年度の学校運営協議会主催活動

- ・放課後子ども教室
- ・7/25 愛宕キャンプ(オンラインにて)
- ・10/18 漢字検定開催(試験監督ボランティア募集中!) など

□さくらの会より□

さくらの会は、子育ての悩みや学校への疑問などを気軽に相談し、話し合うことで親同士がつながる会です。参加費は無料です(新型コロナウイルス対策として、コーヒーやお茶菓子の用意はございません)

マスクを着用し水分補給に水筒をご持参のうえ、ご参加ください。

今回は、7月10日(金)10時から。

□図書ボランティアより□

様子を見ながら図書ボランティアの活動を少しずつ再開できたと、担当の竹内先生と相談中です。詳細が決まり次第お便りでお知らせ致します。新しい学校司書の先生がいらっしゃいました。笠原樹先生です。

次回の学校運営協議会は、8月28日(金)です。

(書記:大石友記)

学校運営協議会の予算については、委員のメンバーで話し合っていて決めています。

令和元年度は、竹馬(給食室横)の購入、その前は、昇降口にある緑色の椅子を購入しました。令和二年度は、教科書の改訂と教科書会社が一新された事から、全学年の教科書を購入し、私たち委員も先生方も見られるように応接室に配置しました。

その他に、学運協の活動である漢字検定試験において、会場費として得られた収入の中から、授業に来られた講師の先生の給食費や、学校備品(来客用スリッパや消耗品)の購入に充てています。

今年度は、コロナ禍の中で新一年生が「小学校はどんなところかな?」と不安に感じたでしょうし、保護者の方々も、これで大丈夫?と思う事が多々あったかと思います。

学校についての疑問や質問は、些細なことでも構いませんので、学校運営協議会までお聞きください。

会長 貴家由美子

atago.school@gmail.com